

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発!

# 日刊 動力労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番  
99. 10. 18 No. 5033

# 11・7根こそぎ結集へ全労働者の団結で 大失業と戦争攻撃をうち砕こう!

怒りの声は満ちている

われわれは、第二七回定期大会で、新たな路線・方針と新たな体制を確立した。

激闘の二〇年間の全成果をステップに新しい世代の動力千葉への挑戦がはじまった。

「十一・七」大結集は、確立した路線と新体制への出発点にふさわしい「第一番」のたたかいである。心から総決起を訴える。

生きるために闘う。勝つために  
団結強化、連帯拡大を

いま大失業攻撃が全面的に加えられている。乾いた雑巾をさらさら絞上げるような非情な攻撃が連合の屈服のなかで、資本・政府によって全労働者に襲いかかっている。七月の完全失業率は四・九%に達し、三百万を越す労働者が路頭ひ放り出され、経済苦から毎日九〇人もの人々が自殺(「虐殺」だ!)に追いやられている。

これに追い打ちをかけるように通常国会で産業再生法を強行成立させ、資本(バブルの張本人)を救済するために労働者のさらなる首切りが国のお墨付きで一気に加速されようとしている。こうした攻撃のなかで今、多くの労働者の中に「いったいこの国は誰のためのものか」と、見抜きはじめている。つまり、国家が労働者のためのものではない。

一部は資本家のためだけに存在していることを掴みとり、この怒りが資本主義とその国家そのものへと急速に向かおうとしているのだ。

こうした確かな労働者の決起の始まりを五・二一明治公園五万人の大結集ははつきりと示している。連合や全労連の枠をこえて新たな共闘と結集の場を求め、本格的に動きだしている。今こそ闘う労働者の大同団結を! この時の声に応えよう。

われわれは勝利するためには団結を固め、連帯の輪をとことん推し進めなければならぬ。「十一・七」の圧倒的成功を實現し、二〇〇〇年から二一世紀への展望をなんとしてもこじ開けなければならない。

闘いは、都労連(東京都労働組合連合会)でも始まった!

都労連は、九月一三日都庁前に五〇〇〇人を結集し、「賃下げ・リストラ攻撃に対し、不退転の決意をもって白紙撤回まで全力で闘いぬく」ことを宣言し、十月総決起行動に立ち上がった。

いままでもなくこの闘いは、反動石原知事打倒にとどまらず、大失業と戦争の自公体制との対決へと大きく発展する可能性を内包している。われわれは、国鉄闘争支援陣型の中軸を担っている都労連を先頭に反撃に立ちあがりつつある自治体労働者としっかりと連帯し、ともにたたかおうではないか。

「会社はつぶせても組合はつぶせない」と不屈に闘いつづける全国金属機械港合同の仲間や「他人の痛みは己れの痛み」と万人は一人のために、一人は皆のために」という労働者精神をみなぎらせ、権力の集中砲火をはねのけ闘う関西生コン支部の仲間たちと固くスクラムを組み、「十一・七」のよびかけ団体としての責務にかけて、根こそぎ結集を何としても実現しよう。残り二〇日間、全力でたたかおう。

港合同、関西生コンの仲間と共に「十一・七」の大成功へ!

暫定滑走路年内着工粉碎を宣言

一〇・一〇三里塚現地集會

一〇・一〇三里塚全国総決起集會は赤風で砂塵が舞うなか、一八〇〇余名が結集し、公団、運輸省の暫定滑走路年内強行着工に対する実力粉碎が宣言された。また一〇・一八公聴会粉碎が訴えられた。

反対同盟からも萩原進さんとともに立つた市東隆雄さんが「なた方の魂よりずつと遅れて私攻撃があればあるほど燃える市東東市精神で闘う」と決意表明一作の後に続くという三里塚闘争への参加の決意表明です。

「周辺事態が認定されれば成田は最大の軍事空港となる。反動の嵐は敵の危機の表れ。新たな闘いの可能性が大きく開くときだ。国鉄闘争も正念場。労働組合内の分岐・分裂を恐れず闘うことだ。ここで踏ばりぬこう。」と決意表明。東峰部落を意気高くデモにたちあがった。



大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動力千葉を創りあげよう!